



2021 年 9 月 20 日

慶應義塾大学理工学部  
同窓会報  
<http://www.dosokai.st.keio.ac.jp>

発行 法人慶應義塾大学  
理工学部同窓会  
〒223-8522  
横浜市港北区  
日吉3-14-1  
TEL 045(562)4747  
FAX 045(561)7594  
落合正行  
あづま堂印刷(株)  
発行人 印刷所

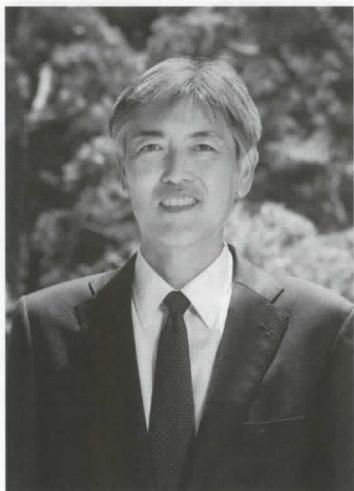
## 総会・矢上祭・テクノモールのお知らせ

今年の連合三田会大会（10月17日（日））は、新型コロナウィルスの影響でオンラインによる開催となります。詳細については、慶應連合三田会大会サイト（<https://www.2021.rengomitakai.jp/>）をご確認ください。それに伴い、同日に予定されておりました理工学部同窓会総会および特別講演はデジミタのサイト内でWeb上で開催となります。今年度の特別講演は、上智大学学長・暉道佳明氏（43期機械）による講演を予定しています。

また、矢上祭につきましては、9月26日（日）にオンラインでの開催となります。対面での開催とは異なるいろいろな企画をしておりますので、後日オープンするサイトにアクセスしてみてください。

今年度の慶應テクノモールは、12月10日（金）にオンラインでの開催を予定しております。昨年度に続き、オンラインでの開催となります。テクノモールのパフォーマンスが下がらないよう、いろいろな企画をしております。後日オープンするサイトへのご来場をお待ちしております。

## 伊藤公平塾長誕生



理工学部出身の新しい塾長が誕生しました。今年は4年に1回の塾長選挙の年です。理工学部内では、4月2日（金）に矢上キャンパスにおいて、第一次塾長候補者選挙が行われました。理工学部からは、岡田英史学部長と伊藤公平教授の2名が塾長候補として推薦されました。各キャンパスから推薦された候補者に対して、4月18日に日吉記念館において、塾長推薦委員会が開催され、3名の塾長候補者が決定されました。推薦委員会では、全候補者の中から5名に絞り込むための第1回投票を行い、その5名に対して順位付けのための第2回投票が行われます。伊藤公平教授は、この推薦委員会における第1回投票、第2回投票ともに他を圧倒する得票数で1位になりました。塾長選挙としては、塾長推薦委員会の3位までの塾長候補者に対して、塾長候補者詮衡委員会、評議委員会での審議を経て、最終的に塾長が決定します。伊藤公平教授は、詮衡委員会・評議委員会の結果から塾長に選任されました。塾長の任期は、2021年5月28日から2025年5月27日までの4年間です。

伊藤塾長は、慶應義塾幼稚舎、普通部、高等学校を卒業し、1989年3月に理工学部計測工学科を卒業しました。その後、アメリカに渡り、1992年にカリフォルニア大学バークレイ校・大学院修士課程を修了、1994年に同大学・大学院博士課程を修了して、日本に戻ってきました。1994年4月から理工学

部計測工学科助手、理工学部専任講師、助教授（准教授）を経て、2007年4月から理工学部物理情報工学科教授を務めました。経歴だけではなく、これまでに、日本IBM科学賞をはじめ、日本学術振興会賞など数々の賞を受賞しています。

伊藤塾長は幼稚舎から慶應ということもあります。福澤諭吉の精神をしっかりと身に着けています。慶應義塾の塾長として、まさに適任といえます。また、これまでにも報道されてきましたように、自分の人脈を使って常に情報を集めており、何事にも非常に早い対応をしています。伊藤教授が塾長になってから、ワクチン接種に関する政府方針が出た直後に慶應義塾におけるワクチン接種方針のアナウンスを出し、東京都の緊急事態対応が延長になった時にも義塾としてはどのように活動すべきかの方針をいち早くアナウンスしています。的確な指示が素早く出ることによって、教職員のその後の対応がスムーズになります。大学の運営にとってこれほど助かることはありません。また、このような時期でも常に海外に目を向けており、義塾として海外の大学や組織とどのようにかかわっていくべきかについて、常に検討を続けています。新しい塾長のもと、慶應義塾がどのように変わっていくのか、今後の展開が楽しみです。

## 岡田英史教授が常任理事に就任

伊藤公平塾長の就任に伴い、新たな常任理事の選任がありました。理工学部からは、これまで学部長を務めていた岡田英史教授が常任理事に就任しました。岡田教授は、伊藤公平前学部長が2019年3月で学部長を退任したあと、2年間にわたって学部長を務めてきました。特に2020年初めからコロナウィルスの蔓延が始まり、理工学部としてその対応を迫られるなか、迅速かつ的確な指示を出していただきました。今後は伊藤公平塾長のもと、常任理事として活動することになります。岡田常任理事の担当は、「施設・管理、社会・地域連携、調達、SDGs（主管）、総務（共管）、危機管理（主管）、教育（共管）、研究（共



管)、塾員(共管)、情報基盤(IT)(共管)、協生環境推進(共管)、矢上キャンパス」です。

岡田教授は、慶應志木高校、理工学部(44期電気)を経て、1990年に大学院理工学研究科電気工学専攻を修了、1991年より慶應義塾大学理工学部に任用されて、現在に至っています。岡田教授の所属は、任用された当時は電気工学科でしたが、現在では電気情報工学科という名前の学科になっています。

岡田教授も慶應義塾生え抜きの一人です。常任理事の仕事として、塾員や慶應義塾に関わる企業など、学外との関係も重要になります。慶應志木校の人脈なども最大限に生かして、慶應義塾の運営に努めていただきたいと思います。今回選任された常任理事は、塾長選挙の際に各キャンパスから推薦された候補者の方々が中心になっており、慶應の出身の方が多いように思います。

## 学部長選挙速報



今年は学部長選挙の年です。岡田英史学部長の任期は2021年9月30日まででしたが、常任理事に選任されたため、学部長としての業務は7月31日までとなり、8月1日から9月30日までの残任期間と、それに加えて2年間の任期を合わせて次期学部長選任の選挙が行われました。選挙は7月7日(水)に行われ、第1回投票にて理工学部教授の中から5名を選出し、第2回投票で5名の中から上位2名を選出します。その上位2名に対して、教授会で決選投票を行い1位になった教授が次期学部長となります。岡田前学部長が常任理事になるということが予想できなかったためか、第1回投票では例年以上に票が割れたように思います。それでも、第1回投票、第2回投票、教授会での投票において、全て1位を獲得した村上俊之教授が次期学部長に選任されました。

村上教授は、1988年に理工学部電気工学科を卒業し、1990年に理工学研究科修士課程修了、1993年に博士課程を修了し、1993年4月に理工学部電気工学科に助手として任用されています。その後、専任講師、助教授(准教授)を経て、2007年4月より教授(システムデザイン工学科)となっています。村上教授の専門は、ロボティクス・モーションコントロールです。

## 管理工学科60周年記念フォーラムの開催報告

管理工学科は2019年3月に創設60周年を迎えました。その記念フォーラムが2021年3月6日に矢上キャンパス厚生棟会議室からzoomでライブ配信されました。当初は2020年3月14日に日吉キャンパスで開催予定でしたが、新型コロナウィルス感染症対策のために延期・再延期の末、ライブ配信当日も緊急事態宣言中でしたが、感染対策に万全の注意を払い、開催いたしました。AI、データサイエンス、IoT、DX、フィンテックなど、管理工学に関連する新しく、そして重要な分野への期待が今まで以上に高まっている中で、時代をリードし、未来を創る「管理工学」を一緒に考え、さらなる発展を遂げるために記念フォーラムのテーマとして「管理工学の再定義」を掲げました。

記念フォーラムは、鈴木静佳君(2017年卒)の司会で、前刀禎明実行委員長(1981年卒)の開催挨拶からスタートし、岡田英史理工学部長、卒業生を代表して北城裕太郎氏(1967年卒)が祝辞を述べられました。引き続き、枇々木規雄管理工学科主任(1988年卒)から、学科の近況報告が行われました。その後、岡敦子君(1986年卒)から「管理工学とデジタルトランスフォーメーション(DX)」、那珂通雅君(1987年卒)から「平成30年間の世界と日本 - 令和時代への期待~インベストメント・バンカーからエンジェル投資家へ~」の講演が行われました。講演のあと、前刀禎明君がモデレーターとなり、那珂通雅君、鈴木秀男君(1989年卒)、徳重剛君(1997年卒)、秋元里奈君(2013年卒)の4人をパネリストとして、「ゼロベースで考える未来創造」というテーマでパネルディスカッションが行われ、活発で刺激的な議論が行われました。今回の記念フォーラムは、コロナ禍の影響を受けながらも、まさに手探りでしたが、管理工学科の教職員、卒業生が協力し、無事に開催できました。実際に講演者が集まる形でのライブ配信は臨場感があり、視聴してくれた卒業生からも好評でした。延べ視聴者数は263人で、3時間半のプログラムの中で視聴者の平均視聴時間は約2時間半、視聴者の52%の方が3時間以上視聴してくれました。管理工学科は今後も卒業生と共に歩む学科を目指しますので、引き続きご支援をよろしくお願ひいたします。

管理工学科・前学科主任 枇々木規雄

## 体育会野球部二つの優勝

今年は体育会野球部の活躍が目につきました。まず、東京六大学野球2021年春季リーグ戦において、3期ぶり38回目の優勝を果たしました。従来の東京六大学野球リーグ戦は勝ち点制で行われており、1勝1敗になった場合には第3戦の勝敗で勝ち点を決めていました。今年度はコロナ禍での大会のためルール変更があり、第3戦は行わず、各試合の勝敗による10試合勝ち点制(ポイント制)での大会となりました。野球部は春先から勝ち続け、5月29日(土)、30日(日)に行われた慶早戦の前に優勝が決まっていました。慶早戦第1戦においても勝利し、完全優勝の期待が高まりましたが、第2戦では早稲田の勝利となりました。さすがに早稲田は簡単には勝たせてくれません。野球部4年の森田晃介(慶應義塾高出身)が春季リーグ



写真：第 70 回大学野球選手権記念大会で優勝した瞬間  
(慶應義塾野球部提供)

の最優秀防御率賞を獲得しました。

また、6月7日（月）～13日（日）に行われた第70回大学野球選手権記念大会において、野球部は34年ぶり4回目の優勝を果たしました。4年の正木智也（慶應義塾高出身）が最高殊勲選手賞、3年の増居翔太（彦根東高出身）が最優秀投手賞、渡部遼人（桐光学園出身）が首位打者賞となりました。

## 「サイバスロン 2020」で慶應チームが世界第3位

2020年11月13日（金）に「国際競技大会サイバスロン2020」が開催されました。当初は5月にスイスで開催を予定されていましたが、新型コロナウィルス感染症拡大の影響を受けて、スイスでの開催は中止となり、世界各国からスイス本部へ動画を中継する形での審査となりました。日本の会場は日本科学未来館で、コロナ対策を万全に行った状況でのレースとなりました。この大会で、慶應義塾大学理工学部サイバスロンチーム「Fortississimo」は、電動車いす部門において、第3位の好成績を収めました。第1位は「HSR Enhanced（スイス）」、第2位は「Caterwil（ロシア）」という結果になりました。慶應サイバスロンチームは2019年の大会でも世界3位となっています。

「サイバスロン」とは、障がい者と先端技術の開発者が協力して日常生活に必要な動作に挑む国際競技大会です。「サイバスロン」は、6種類の競技種目から構成されておりますが、慶



写真：サイバスロン大会で理工学部チームが使用した電動車いす。  
矢上キャンパス 14 棟 1 階に展示中（2021年7月28日撮影）。

應義塾大学理工学部のサイバスロンチームは電動車いすレースの部に参加しています。なお、車いすを操作するパイロットは障がい者です。引き続き、慶應チームは技術開発を進め、次の大会でさらに良い結果を目指すとともに、大会を通して得られた技術を現実の社会に展開していきます。

## 星出さん再び宇宙へ

2021年4月23日に、理工学部OBで宇宙飛行士の星出彰彦氏（50期機械）が3回目のフライトを行った。星出氏ら4人を乗せた宇宙船「クルードラゴン」が、USA・フロリダ州のケネディ宇宙センターから国際宇宙ステーション（International Space Station、ISS）に向けて打ち上げられ、無事にドッキングに成功した。星出氏は、先にISSに滞在していた野口聰一宇宙飛行士と入れ替わる形で、半年間ステーションに滞在する。星出氏は、若田光一宇宙飛行士に続いて日本人二人目のISS船長として、クルーの指揮を取ることになる。また、一時的ではあるが、野口聰一宇宙飛行士と星出彰彦宇宙飛行士の日本人二人がISSに同時にいたことになる。ISSに二人の日本人が同時にいたのは、2010年の野口聰一宇宙飛行士と山崎直子元宇宙飛行士が同時にいた時以来、2度目ということになる。

星出氏は理工学部在学中、理工学部体育会ラグビー部に所属しており、ポジションはスクラムハーフだった。宇宙飛行士として非常に過酷な任務をこなせるのも、また宇宙での瞬時の臨機応変な判断ができるのも、学生時代に理工体ラグビー部で培った素養によるものであると思われる。また、星出氏のフライトサーチャン（航空宇宙医師）として話題となっている速水聰氏も塾員（1999年医学部卒）であり、星出氏の健康管理を行っている。星出氏には宇宙での活躍を期待したい。

## ワクチンの職域接種開始

ワクチン接種は65歳以上の高齢者が優先的に行われていましたが、6月から職域接種プログラムが始まりました。これは政府が発足させたプログラムで、企業・大学単位で、従業員や学生に接種ができるようにするプログラムです。慶應義塾としては、政府が認める最速のスケジュールである6月21日から職域接種を始めました。接種の対象者として、義塾教職員、大学生・大学院生だけでなく、非常勤講師、専任教員、研究者、非常勤職員、そして清掃業者、生協、警備員の皆様といったキャンパスで働く方々も接種対象としています。ワクチンとしては、モデルナ社製のものを使用します。6月21日からプログラムに参加した大学は非常に少なかったのですが、慶應義塾として、これまで大きな制限を受けてきたキャンパスライフに、もとの活動を取り戻していくという意思表示です。授業・研究・課外活動など、全ての活動の活性化に向けて、第一歩を踏み出した感があります。伊藤公平塾長を中心とした新しい執行部は、教職員・学生にわかりやすい、速やかな意思表示をしていただけるので、義塾に関わる者として行動がしやすくなりました。

## 支部だより

### 関西支部

皆様におかれましては、未曾有の災禍の中、ご苦労はいかほどかと拝察致します。どうかご自愛の上お過ごしくださいませ。

さて、当関西支部の昨年度の活動実績ですが、状況に鑑み、会員の皆様方の安全を最優先に考えた結果、一昨年度に引き続き総会・懇親会の開催を中止致しました。また、テニス会を除く同好会も中止、会議体は電子メールに依るという、活動自粛を余儀なくされた1年でした。

しかし、新しい動きもありました。困難に直面しても柔軟に対処するのが塾員の真価であり、東海支部の方々は総会・懇親会のオンライン開催を企画され、ご厚意に甘え関西支部の者も一緒にさせて頂きました。地理的な問題が解消され、日頃交流のない方とも対談でき、締めはオンラインでの「若き血」の齊唱とエール。これぞニューノーマル！？。東海支部の方々に、感謝です。懇親会・総会のライブ配信など、今後の支部活動の活性化に向けた施策を検討しています。

当支部唯一の活動となったテニス会ですが、換気に配慮した屋内コートにて、幹事の方々が安全面で細心の注意を払って運営にあたったことにより、春と秋に無事開催することができました。コート一面では無料レッスンも開講しており、初心者でも気兼ねなく参加して頂けます。テニス会の模様はHPにも公開していますので、興味を持たれた方は是非ご覧下さい（<http://keiostkansai.blog.jp/>）。

このテニス会、30年以上の歴史がありますが、これもひとえに参加の皆様、幹事のご苦労、そして協賛頂いた方々の温かいご支援の賜物です。この場を借りて御礼申し上げます。

ワクチン接種も広くゆきわたり、令和4年3月に総会・懇親会を会場開催できる可能性が高くなっています。来年は会場あるいはオンラインで皆様とお会いできます事を楽しみにしております。総会・懇親会をはじめ支部開催行事についてはHPにも掲載していますので、ご確認下さい（<http://www.keio-stkansai.org/>）。

**慶應 理工 関西** で検索クリック！

同窓会関西支部 上田恵一郎（44期管理）

### 東海支部

2020年度は1年間通して対面でのイベント開催ができませんでした。そんな中、鈴木支部長より「同窓会の灯を消さないためにも、東海支部としてできることをやろう」とのメッセージをいただきました。

東海支部の幹事・事務局は各職場でのノウハウを持ち寄り、Zoomを活用したオンライン総会を企画しました。

初めてのオンライン総会はまさに試行錯誤。同窓生にZoomのマニュアルを配布、不安な人向けに事前講習会を実



2021年3月6日（土）  
慶應義塾大学理工学同窓会東海支部

施しました。また、オンラインでの記念撮影や若き血、小グループに分かれてのディスカッションなどを企画しました。

幹事の声掛けの成果もあり、当日は50名が参加しました。ご来賓の岡田理工学部長、鈴木関西支部長、真島西日本支部長とともに楽しい総会となりました。（鈴木関西支部長は赴任先の香港から参加してくださいました。）

コロナが終息した暁には対面での総会を開催します。笑顔で再会する日まで、オンラインでの同窓会を模索していきます。

東海支部のWEBサイト（<http://www.k-tohkai.com>）or（慶應理工 東海支部で検索）に情報を掲載していくので、ぜひご覧ください。

東海支部事務局 中部電力 橋爪雅人（99年卒）

### 西日本支部

2021年3月に、支部長に選任されました真島兼義（電気81）です。

西日本支部では、新型コロナの感染拡大により、2020年に引き続き、本年3月も、支部総会の開催を見合わせ、メールアドレスが分かっている方々にて、書面審議をいただき、役員改選を行いました。当支部では、2年に一回役員改選を行っており、昨年が改選の年でしたが、支部総会の中止により、1年間任期を延長して5年間支部長を務めていただきました俵 洋一前支部長（機械75）の後任として本年就任いたしました。どうぞ宜しくお願ひいたします。

改選後に、新役員・幹事にて、Web幹事会を開催し、ほぼ全役員のご出席のもと、来年3月開催の支部総会に向けての準備や中間でのイベントについて討議しました。コロナ感染状況にもよりますが、支部総会のリアル開催が可能な場合には、2022年3月13日（日）博多での開催を予定しております。リアル開催が難しい場合には、Web開催を行うことで準備を進めて参ります。大勢の方々のご参加をお待ちしております。

支部長に選出いただき、改めまして、会員の皆様相互の親睦を深め、若い世代の方々に受け継いでもらえる支部活動を目指し、支部のますますの活性化と発展に繋げて参りたいと思っている次第です。

西日本支部の皆様からのご意見・ご要望をお待ちしています。 西日本支部HP：<http://keio-alumni-west.holy.jp>

**慶應 理工学部 西日本** で検索下さい。

西日本支部支部長 真島兼義（電気81年卒）

# 事務局より

昨今の COVID-19 による影響を受けておられる皆様には、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く、感染症拡大が終息を迎え、安心して生活できる日が戻るよう願っています。その状況の中で、慶應義塾大学理工学部同窓会は今年 72 周年となりました。改めまして、この間同窓会を支えて下さった会員の皆様に、心より感謝申し上げます。

## ①名簿情報について

当会ではこれまで、会員同士或いは会員と同窓会とで相互に連絡が取り合えることを重視して、『慶應義塾大学理工学部同窓会・名簿 Web システム』による名簿情報の「閲覧サービス」を提供して参りましたが、「個人情報の取扱いがますます厳しくなってきている現状において、アクセスさえすれば名簿を見ることができてしまう」という当システムは、今の時代にそぐわないように思われる。また、「個人情報に関する事故も発生しかねない」とのご指摘を、複数の会員および塾員センターより頂きました。

このような事情により、従来の形で「閲覧サービス」を提供することが極めて困難な状況となりました。そこで今年 6 月、幹事会に諮り協議した結果、名簿 Web システムの運用方法について一部見直しを行うこととし、2021 年 7 月末をもって「閲覧サービス」を終了させて頂くことが決定致しました。

ご利用下さっていた皆様には大変ご不便をおかけして申し訳ございませんが、今後ご自身の名簿情報を確認する場合は、『慶應オンライン』をご利用下さいますようお願い申し上げます。また、住所等変更や計報のお知らせを頂く場合は、『塾員(卒業生)ホームページ』もしくは同封の『住所等変更届／個人情報に関する届』(塾員センター宛)をご利用下さいますようお願い申し上げます。なお、その他のサービスについては従来通り継続しますので、同封の『名簿 Web システムのご案内』をご高覧下さい。

## ②奨学生について

2021 年度の『慶應義塾大学理工学部同窓会奨学生』(1 名につき 60 万円の給付型奨学生支給制度)は、当初 12 名を募集していましたが、使途指定寄付と会費収入を活用して 3 名を増員し、合計 15 名を採用しました。

## 今年採用された奨学生 15名からのメッセージ

●未だ終わらないコロナ禍の中、同級生や先方と関わることもなく、独りで摸索しながら勉学を進めざるを得ません。その中において奨学生という形で金銭的な不安を払拭できたことはありがたい限りです。(機械工学科 3 年)

●この度は理工学部同窓会奨学生に採用頂き、ありがとうございます。現在は以前より興味のあった化学分野を中心に学んでいます。専門知識を身につけるだけでなく幅広い知識を身につけたいです。よろしくお願いします。(応用化学科 2 年)

●この度は、理工学部同窓会奨学生に採用頂き感謝申し上げます。今年度の実験の授業は、一人実験の体制をとる等の新型コロナウイルス感染予防対策も行いつつ、励むことができています。今後も精進して参ります。(応用化学科 3 年)

●この度は奨学生のご支援を頂きまして、誠にありがとうございます。奨学生によって、アルバイトをする時間を少なくし、今まで以上に勉学に励むことができます。理工学部での学びを社会に還元できるよう精進していきます。(物理情報工学科 2 年)

●この度は御奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。お陰様で、今年度も勉学に集中して取り組むことができております。奨学生としての自覚を持ち、今後も他の学生に対して範を示す所存でございます。(物理情報工学科 3 年)

●この度は理工学部同窓会奨学生に採用していただきありがとうございます。金銭面での不安が軽減されるので、今後は興味のある情報技術や関連する数理科学はより一層、他の分野についても幅の広い見識を得るために励んでいきます。(数理科学科 3 年)

●この度は貴奨学生に採用頂きまして誠にありがとうございます。賜りました奨学生を全て学費に充て日々学業に邁進しております。今後も同窓会の方々への感謝を忘れず、愚直に貪欲に誠実に、学問に向き合って参りたい所存でございます。(物理学科 3 年)

●この度は慶應義塾大学理工学部同窓会奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。頂いた奨学生は学費や生活費に充て、今後ますます勉学に励んでいきたいと思います。(システムデザイン工学科 3 年)

●この度は採用ありがとうございます。同窓会奨学生のおかげで研究活動に専念することができます。再生医療で世界をリードする結果を出す所存ですので、引き続きご支援いただけますと幸いです。(システムデザイン工学科 4 年)

●この度はご採用頂き、誠に感謝申し上げます。同窓会の皆様からのご支援によって、学業や研究活動に全力を以て取り組むことができております。日々ご支援に対する感謝を忘れず、より一層の努力をする所存です。(システムデザイン工学科 4 年)

●私の将来の夢はより安全で快適な自動運転を実現することです。理工学部での学びを自らの夢の実現に活かしたいです。奨学生としてご支援していただくからには、より一層勉学に励み、夢を実現に近づけていきます。(情報工学科 2 年)

●この度は理工学部同窓会の奨学生に採用していただき、誠にありがとうございました。私の両親は共に重度の疾病を抱えており厳しい家計状況にありましたが、御支援を賜ることでより一層学業に精進して参ります。(情報工学科 3 年)

●この度は、奨学生に採用していただきありがとうございます。おかげをもちまして、経済的な不安なく研究に専念できます。機械学習のブレイクスルーを起こす研究成果をあげるという目標に向けて、精進してまいります。(情報工学科 4 年)

●この度は理工学部同窓会奨学生に採用していただき、ありがとうございます。生命化学分野での研究開発を通して社会に貢献するという夢を叶えるため、ご支援を無駄にすることのないように日々努力してまいります。(生命情報学科 2 年)

●この度は奨学生に採用していただきありがとうございます。奨学生は全額学費納入に充てさせていただきます。対面授業がない状況ですが、それを理由にせず一人前の研究者となるべく、より一層学問に励んでいきます。(生命情報学科 3 年)

平素より理工学部同窓会の運営にご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。とりわけ、篤志家の皆様の奨学生へのお心寄せに対し、厚くお礼申し上げます。2020 年度は過去最高額となる 98 万円の温かいご支援を頂き、奨学生の増員が実現しました。

名簿情報・登録内容の確認は『慶應オンライン』で



[https://www.jukuin.keio.ac.jp/kol/html/  
login/Login.html](https://www.jukuin.keio.ac.jp/kol/html/login/Login.html)

計報・住所等変更是『塾員(卒業生)ホームページ』へ



[http://www2.jukuin.keio.ac.jp/address/  
index.html](http://www2.jukuin.keio.ac.jp/address/index.html)

今後も、一人でも多くの塾生の応援ができるよう、また、長期的に安定した奨学金の継続と充実を図るために、何卒、卒業生の皆様からの力強いご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

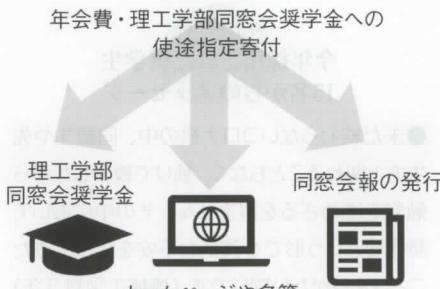
慶應義塾大学理工学部同窓会会長  
落合 正行

同窓会 HP「使途指定寄付について」



### ③年会費について

会員の皆様より納入された会費は、塾生の支援に活用させて頂いているほか、会員の皆



様へのサービス提供、同窓会活動の支援に役立っています。

#### ■年会費(4,000円)の納入方法

同封の振込用紙によるコンビニエンスストア・郵便局からのお振り込みが可能です。継続的なご支援をご検討の方は「自動振替サービス」をご利用下さい。また、ネットバンキング・

ATMによるお振込みも受け付けております。

#### ■「自動振替サービス」の申込方法

同封のハガキ[預金口座振替依頼書]に必要事項を記入し、金融機関お届印を捺印の上ご投函下さい。指定口座から毎年8月に自動引落による納入が可能になります。なお、登録後の口座変更や解除も可能です。

詳しくは当会のホームページ  
<https://www.dosokai.st.keio.ac.jp/info/20210310kaihi/>をご高覧下さい。

同窓会 HP「年会費について」



## 伝言板

### ● 機械工学科（昭和29年卒）●

昭和29年3月卒だからお互い90歳、卒業後67年になる。コロナ感染拡大のため隔月で行って、日吉会の集まりが中止になつて久しい。皆の様子は分からぬが多分“元気で過ごしている”と思いたい。僕は未だ下手なゴルフを続けていて、今では百を切るのが目標。暑いさなか日傘をさして回るとかなりくたびれる。お互い元気を出して、あと10年頑張ろう。

(松尾芳郎)

### ● 応用化学科（昭和31年卒）●

応化14期の皆さん、コロナ騒ぎと猛暑の中如何お過ごしでしょうか？昨年、最後のクラス会がコロナで延期となり、今年の11月に計画する予定でしたが現状では判断できません。9月に幹事で相談し、ご連絡致します。

残念なお知らせ：長年にわたり幹事として、素晴らしい写真を撮って下さった立野君が昨年12月亡くなりました。余命1年を宣告されてから10年頑張ったのに残念です。ご冥福をお祈り致します。

(柴田幸次郎)

### ● 電気工学科（昭和36年卒）●

1961年3月に卒業した我々は今年60周年を迎えました。全員80歳を越えコロナ禍のなか、3密など対策を十分取りながら、隔月の勉強会には10人弱、昼食会にも10人弱、年1回の小渕沢のゴルフ会には10数人が集まり、残りの人生を楽しんでいます。メーリングリストには58名が登録され、北海道から沖縄まで、連絡を取り合っています。

(山田郁夫)

### ● 応用化学科（昭和36年卒）●

桜花会 walking は、第1回2003年12月～第144回2020年01月、延べ参加人員1628名を以って、コロナ禍の為中断していますが、再開を望む声が高まっており、山田リーダーも着々と新たなコースの下調べをしています。全員のワクチン接種が終われば再開出来ますね。

(米盛隼人 hayatoythai@yahoo.co.jp)

### ● 計測工学科（昭和36年卒）●

自然科学に親しむ会と言う名の会を作つて、1998年から物理の実験と実験に関係する物を工作して子供達（小学生）に自然科学の面白さや不思議さを感じさせ、将来、自然科学分野に進む人材を一人でも多く増やすための自然科学教育活動を行つてゐる。活動の当初は実験が中心であったが、子供たちの印象を強くする為に工作を加えた。

(佐武 昇)

### ● 応用化学科（昭和38年卒）●

昨年は、コロナ禍のため「3研究室」（阿部研、日比野研、久野研）の発案で、メールによる「紙上クラス会」を開きました。33名から「近況報告」を貰い、「C21紙上クラス会小冊子（12ページ）」を編纂して、2020年9月に全員にメール配信しました。今年はまだコロナ禍が継続するでしょうから、10月頃に「集会」に代えて「メール交流会」（葉書含む）をする予定です。詳細は10月頃に幹事から「2021年・私の近況報告」をC21メンバー全員にメール依頼（葉書も）します。コロナ禍終了時には「C21全研究室クラス会・解散会」を盛大に開催する予定です。

(クラス会幹事 岩尾信正・内田 宏)

### ● 管理工学科（昭和39年卒）●

本年10月3日の予定で準備を進めて参りました同期会は新型コロナ感染収束の兆しが見られず残念ながら中止とさせて頂き、来年度は皆様にご参集いただける環境になりましたら改めてご案内申し上げます。来年の再会を期して皆様のご健勝を祈念致して居ります。

管理3期同期会幹事 芝村靖雄（連絡先 045-592-2455）  
y-shibamura1964@lilac.ocn.ne.jp (芝村靖雄)

### ● 管理工学科（昭和42年卒）●

各位  
今年もコロナ禍のおり、同期会はZOOMとさせていただきます。総幹事長の安平次さんから別途詳細な連絡が送られる予定です。皆様お体大切になさってください。

(代表者 金井一成 03-3262-2998)

## ● 電気工学科（昭和 47 年卒）●

恒例になりましたクラス会ですが、今年も開催を中止することになりました。皆さんにお目にかかるのは残念ですが、来年は開催できるように祈っています。それまでお元気でお過ごしください。

（山田洋子）

## ● 全学科（昭和 57 年卒）●

同期のみなさん、お元気ですか？ごぶさたしています！盛大な全学科の祝・還暦同期会の際に「2 年後に再会しよう！」と言つて別れました。しかし、いまだコロナ禍は続いており、世の中変われど、zoom 同窓会じゃなく、やっぱりリアルでしょ、という気持ちです。なので、安心して皆さんのが集まる日が訪れるのを待ちたいと思います。ご理解のほど、よろしくお願ひいたします！

（代表者：中間真一）

## 計測工学科（昭和 57 年卒）

計測 40 期の皆さん、お元気ですか。40 期全学科宛に中間君からも連絡が行っていますが、同期会はやはり対面がいいですね。本来であればそろそろ同期会幹事が集まって企画を始めるところですが、さすがにこの状況では難しいと思います。安心して集まれると判断できたら、速やかに企画をしたいと考えています。もうしばらくお待ちください。

（田中敏幸）

## ● 応用化学科（昭和 58 年卒）●

訃報です。小田切（竹内）初枝さんが、昨年 8 月 26 日に亡くなりました。当方にとっては、頼りになる実験パートナーでもあり、また親友でもありました。C 科の女性陣を連れて実家の金沢に遊びに来てくれたり、最近も BS 朝日の「お笑い演芸館」の収録にお母様と一緒に何度も観覧に来てくれました。心より御冥福をお祈り致します。コロナが落ち着いたら、吉森君・中島さん他有志で、お墓参りに行きたいと思います。その時には、改めて御連絡させて頂きますね。

（田中 巧）

## ● 計測工学科（昭和 59 年卒）●

2020 年 11 月 7 日 計測 42 期 ZOOM 同窓会には 20 名の方が参加しました。今後も実際に合う同期会とインターネット ZOOM 上での方法で計画していきます。

★同窓会の案内メールが届いてない方は、幹事 淵までメールください。fuchi@yk.rim.or.jp

（淵 昌彦）

## ● 全学科（平成 3 年卒）●

コロナ禍で昨年は中止となった連合三田会大会ですが、私達

の代が当番の今年は、オンラインで決行です。開催日は 10 月 17 日（日）。但し、オンラインサービス「デジミタ」は既にスタートしています。「デジミタ」で出来ることは色々ありますが、イチオシはオンライン同窓会。まずは今すぐ大会ホームページ <https://2021.rengomitakai.jp/> にアクセスを！

（連絡代表者：園田陽子）

## ● 化学科（平成 3 年卒）●

### 化学科 7 期の皆様

卒業 30 年の同期会。このコロナ禍ではなかなか……でも上記全学科宛メッセージの「デジミタ」では、大会当日オンライン上に同窓会ルームを作つて貰えて、様々なグループで同窓会を開けること。利用しましょう！ オンラインなら、地方、海外在住の方にもご参加頂けますね。準備として、①上記大会 HP で ID 登録をしておく ②10 月 17 日（日）を空けておく の 2 点、お願い致します。

（園田陽子）

## ● 管理工学科（平成 6 年卒）●

同窓会員の皆様、ご安全に！ ご健康に！ いかがお過ごしでいらっしゃいますか。先日、物理情報工学科の授業で、SDGs や CSR に関するお話をさせて頂きました。不正が起るメカニズムを通じて、如何にそれを断ち切るか、断ち切らせるかが重要であることや、「良心、正しい心、思いやりの心」を持とう。ということを呼び掛けさせて頂き、後日、受講された皆様からの感想文を読ませて頂き、改めまして、今、私が取り組んでいることを振り返る丁度いい機会を頂きました。こういった話題に興味のある方がおられましたら、お声がけ下さい。

（高桑力也 takakuwa@MX-keio.net）

## ● 情報工学科（平成 22 年卒）●

ご無沙汰しておりますが、皆様におかれましてはご清祥のこととお喜び申し上げます。

昨年は理工学部卒業 10 周年として同窓会を開催する予定でしたが、コロナ禍でキャンセルとなり残念でした。ワクチンも広まりつつあり、また集まれる時を期待しております。それまで健やかな日々をお過ごしください。

（彌富輝彦）

## ● システムデザイン工学科（令和 3 年卒）●

同期の皆様、いかがお過ごしでしょうか。現在、依然としてコロナウイルスの蔓延は続いており予断を許さない状況となっています。いつかコロナが落ち着き、皆さんと再会できる日を心待ちにしております。体調には十分気をつけてお過ごし下さい。（家根和樹）

## 慶應技術士会からのお知らせ

ライフスタイルの変革が進んで行くなか、技術によりできる貢献と役割に対し、技術士制度の啓蒙と技術士業務の普及に寄与できるよう活動をしています。新宿未来創造財団サイエンス教室、千葉市科学館主催の「フェスタ 2021」における科学工作教室の開催、見学会、勉強会の開催、学校との連携等の活動を実施しています。

科学工作教室では、アルキメデスのポンプ、無段変速機構を利用したフラフープ人形、紙コップドローン等の工作により子供たちに科学の面白さを伝えられればと活動をしています。2021 年度も、科学技術振興機構主催のサイエンスアゴラへの参加を計画しています。

見学会、勉強会では、日本技術士会青年技術士交流委員会からの参加者を含めて幌延深地層研究センターの見学と勉強会を実施しました。

学校との連携では、会員が特別講義の講師派遣依頼に対応しています。また、機械工学科での JABEE プログラムでは、プログラム修了生と会員との対話会により、技術士制度の紹介をしています。

技術士、技術士補、JABEE 修了の塾員の慶應技術士会の活動へのご参加をお待ちしています。興味のある方、ご連絡ください。

入会をご希望の方

E-Mail : entry@keiope.org

お問い合わせ

E-Mail : jimu@keiope.org URL : <http://keiope.org/>

慶應技術士会事務局

## 会計報告 令和2年度収支実績予算対比表

(令和2年4月1日～令和3年3月31日) (単位：円)

科目	予算額	決算額	予算差異 (決算 - 予算)
I 事業活動収入	36,500,000	37,196,000	696,000
1 会費収入	36,500,000	37,196,000	696,000
2 寄付金収入	0	0	0
II 雑収入	175,000	24,819	▲ 150,181
1 受取利息	0	1,279	1,279
2 頒布品販売収入	130,000	0	▲ 130,000
3 連合三田会大会券販売収入	0	0	0
4 その他	45,000	23,540	▲ 21,460
5 奨学金事業積立金取崩収入	4,200,000	4,200,000	0
【収入合計】	40,875,000	41,420,819	545,819
I 事業活動支出	31,352,000	28,905,590	▲ 2,446,410
1 名簿関係費	7,000,000	6,392,760	▲ 607,240
2 会報関係費	4,450,000	3,449,078	▲ 1,000,922
3 奨学金事業	11,552,000	11,551,550	▲ 450
4 総会関係費	0	0	0
5 幹事会関係費	0	0	0
6 支部関係費	1,350,000	1,062,640	▲ 287,360
7 頒布品作成費	0	0	0
8 慶應義塾大学病院医療支援資金	1,000,000	1,000,000	0
9 理工学部1年生応援事業	6,000,000	5,449,562	▲ 550,438
II 管理費支出	9,523,000	6,867,699	▲ 2,655,301
1 会費管理費	2,850,000	2,157,690	▲ 692,310
2 事務局関係費	5,445,000	4,710,009	▲ 734,991
3 予備費	1,228,000	0	▲ 1,228,000
III 奨学金事業積立支出	0	0	0
IV 基本財産繰入支出	0	0	0
【支出合計】	40,875,000	35,773,289	▲ 5,101,711
当期収支差額	0	5,647,530	

## 令和3年度予算

科目	予算額
I 事業活動収入	36,500,000
1 会費収入	36,500,000
2 寄付金収入	0
II 雑収入	640,000
1 受取利息	0
2 頒布品販売収入	20,000
3 連合三田会大会券販売収入	600,000
4 その他	620,000
5 奨学金事業積立金取崩収入	0
【収入合計】	37,140,000
I 事業活動支出	22,838,000
1 名簿関係費	7,400,000
2 会報関係費	4,450,000
3 奨学金事業	8,021,000
4 総会関係費	1,602,000
5 幹事会関係費	15,000
6 支部関係費	1,350,000
7 頒布品作成費	0
8 慶應義塾大学病院医療支援資金	0
9 理工学部1年生応援事業	0
II 管理費支出	9,302,000
1 会費管理費	2,300,000
2 事務局関係費	5,445,000
3 予備費	1,557,000
III 奨学金事業積立支出	4,000,000
IV 基本財産繰入支出	0
【支出合計】	37,140,000
当期収支差額	0

### ラボワール閉店

卒業生の皆様、矢上キャンパスに「ラボワール」という喫茶コーナーがあったのをご存じでしょうか。卒業して間もない方の中には、お昼の食事でかなりお世話になった人も多いと思います。人気のある店だったのですが、昨年からのコロナ禍で矢上キャンパスに来る学生数が激減し、売り上げに大きな影響が出ていたようです。そのため、2021年2月4日(木)をもって閉店となりました。大変残念ですが、小売商店はコロナ禍で相当な影響を受けています。

### ● 原稿募集のお知らせ

編集委員会では、広く同窓生の皆様の声をお寄せいただきたいと、原稿の募集を行っております。テーマは特に限定いたしません。「会報原稿」投稿と表記し、①タイトル  
②氏名 ③卒業期・学科 ④連絡先 ⑤電話(FAX)  
番号あるいはEmailアドレスを明記して原稿をお送り下さい。投稿は郵便、ファックス、メールいずれでも結構です。  
投稿された原稿はお返しいたしません。また、採否は編集委員会にお任せ下さい。投稿をお待ちしています。

(編集委員会)

### 編集後記

コロナウィルスの影響がまだ続いている。コロナ禍のプラス面として、企業のDX化に拍車がかかってきたように思います。同窓会報の業務についてもDX化を進めていく必要があります。同窓会報作成の際、紙媒体の資料を会報委員全員でチェックするなどの作業を行っていますが、セキュリティを保ちながら、クラウドでの処理に切り替え始めています。まだ、作業のペーパーレス化に慣れていないため、送られてきた資料を一度印刷してからチェックすることもありますが、自分自身でもDX化の波に乗り遅れないようにしようと思います。

同窓会報では卒業された皆様にとって興味のある最新の理工学部情報を知っていただこうと考えております。記事として掲載して欲しいとお考えのことがございましたらご遠慮なくご連絡下さい。編集委員会にて検討の上、可能なものは掲載したいと考えております。また、会報に対するご意見やご要望などございましたらご遠慮なくお申し出下さい。

田中敏幸(40期計測)